

スラブ・ユーラシア研究センター公募研究共同研究班セミナー

第二次ナゴルノ・カラバフ紛争 境界への影響と地政学的変動



北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターは、共同利用・共同研究拠点として公募による事業を行っています。今回は、その柱の一つである共同研究班「境界・国境研究」に関わる共同研究「南コーカサスを中心とした旧ソ連地域研究・国際政治」に関して、セミナーを開催します。2020年秋にアゼルバイジャンとアルメニアの間で勃発した「第二次ナゴルノ・カラバフ紛争」により、アゼルバイジャンが占拠されていた領土の多くを奪還するなど、大きな地政学変動が起きました。本セミナーでは、地域そのもの、そして世界への影響を関連する一線の専門家が読み解きます。みなさまの参加を期待します。

日開
時催

2021年10月22日(金) 15:30~17:30

パ
ネ
リ
ス
ト

廣瀬陽子（主宰者 / 慶應義塾大学総合政策学部教授）
岩下明裕（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター長）
吉村貴之（早稲田大学ロシア東欧研究所・招聘研究員）
今井宏平（日本貿易振興機構アジア経済研究所・研究員）
田中浩一郎（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授）
ダヴィド・ゴギナシュヴィリ（在日ジョージア大使館専門分析員 / 慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員）
宇山智彦（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授）

参加方法

下記アドレスにて参加登録をお願いします。

登録後に Zoom ウェビナーへの接続アドレスをお送りします。

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_KmefQdyJSRGLM26xKErrdQ

※Zoomを使用したオンライン会議です。インターネット環境とPC、スマホ、タブレット等があればご自宅やオフィスからお気軽にご視聴いただけます。参加費無料。



参加登録 URL

お問い合わせ：join_us@slav.hokudai.ac.jp (担当・岩下)

 スラブ・ユーラシア研究センター
SLAVIC-EURASIAN RESEARCH CENTER